

ジャパンモビリティショー福岡 2025

「プログラマーのお仕事」をテーマとした体験プログラムを実施しました

12月20日、小学4年生から中学生を対象に、「プログラマーのお仕事」をテーマとした体験プログラムを実施しました。参加者は、先輩プログラマー役の学生TAの指導を受けながら、ロボットカーが障害物を回避して目的地まで走行するためのプログラム仕様書を作成しました。その後、micro:bitを用いて、試行錯誤を重ねながらプログラミングに取り組みました。完成した仕様書は上司役の九工大職員に提出し、確認印を受けた後、仕事の報酬として、会場内の指定場所で使用できる「モビ」が手渡され、仕事体験を終えました。本プログラムでは、技術部が教育用教材として開発した手作りロボットカーを使用しました。

あわせて体験コーナーを設置し、micro:bit CreateAIを用いた小学生向けの機械学習入門教材を展示しました。手首に装着したmicro:bitに動作パターンを学習させることで、別のmicro:bitのLEDが点灯する仕組みを体験し、楽しみながら機械学習の基礎に触れてもらいました。

出展日	2025年12月20日
参加者	小学4年生～中学生：21名
担 当	荒川 等(管理本部 技術部) 富重 真理(管理本部 技術部)
補 佐	青木 俊介(大学院情報工学研究院 生命化学情報工学研究系 教授、高大接続センターSTEAM教育推進室 室長) ソーシャルコミュニケーション課職員：1名 高大接続センター STEAM教育推進室職員：1名 生涯学習センター職員：1名 学生TA：5名



上司役による説明の様子



プログラミングの様子